

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

## 株式会社鈴木製作所

山形市にある株式会社鈴木製作所の大木舞さん取材しました！

大木さんは山形大学人文社会科学部を卒業した後、2021年に入社しました。

現在は特機課で勤務しています。特機課は、新しく開発した機構や製品を量産化するための部署です。

### (1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。



現在の仕事は、主に刺し子ミシンの組立をしています。当社の主力製品であるロックミシンはライン生産による流れ作業になっており、組付担当が何人もいて順番に次の工程に渡していくのですが、私が担当している刺し子ミシンは、一人で最初から最後まで組み立てます。具体的には、ユニット組という細かい部品のかたまりを作り、それをミシンの本体に組み付けます。

——1日にどれくらいの台数を組み立てるのですか？



1台を1人で組上げるセル方式なので1台くらいですね。ラインによる組立だと大人数で組み付けるので大量に作れるのですが、私の部署は人数も多くないので、1日で2~3台を完成させています。

——組立を覚えるまでにどれくらい時間がかかりましたか？

今も覚えている途中ですので、最後の工程まではまだできていません。ユニット組を作るのにもたくさんの種類がありますので、それを1個あたり2~3か月かけて覚えました。今はミシンの組立を毎日練習しているところで、身に付けるまでに結構時間がかかりますね。



——ミシン組立作業で、特に難しいのはどんなところですか？

0.01 ミリといった単位で合わせますので、少しでもずれていると最後の試し縫いで縫えなくなってしまいます。決められた規格内に収まるように細かい合わせ作業が難しいですね。

——入社してすぐに現在の業務に就かれたのですか？

最初は研修があります。4月に入社して研修は2か月ありますが、その後すぐに配属にはならず、今とは違う部署のお手伝いもしていました。10月に入ってから、今の部署に本配属されました。

——鈴木製作所に入社して、一番よかったなと思うことは何ですか？



たまに外部の方が工場見学にいらっしゃるのですが、当社のミシンやミシンで縫った作品を見て、「すごい！」「面白い！」とってくださいます。直にそういう声を聞くと、自分が作っているものに感動してくれる人がいるんだ、入社してよかった、と思いました。

(総務の横尾さん) 特に刺し子ミシンを作っているのは世界中で当社しかないのです、皆さん驚かれるんですよ。



——ちなみに、刺し子ミシンと普通のミシンは何が違うのですか？

刺し子ミシンは手縫い風に縫えます。普通のミシンで縫うと、縫い目がつながるのですが、刺し子ミシンは一目ごと間欠を繰り返し、手縫いのような縫い目に仕上げます。例えば、生地の中に綿を詰めて、手縫い風に縫って模様を作ることができます。

(横尾さん)

「刺し子」は、昔の農家のお嫁さんたちが野良着（作業着）を繕いながら丈夫にするのが目的でした。皆様がよくご存じのものでは柔道着や雑巾があります。それに紋様を織り込み、オシャレを楽しんでいました。全国各地に独特なデザインがあります。山形では庄内刺し子、米沢刺し子などが残っています。



## (2) 職場編

——大木さんは山形大学の人文社会科学部ご出身ですが、最初から製造の仕事を希望していたのですか？

就職活動では、事務の仕事をメインに探していました。鈴木製作所では、文系出身でモノづくりを専門に学んでいない人でも現場で働いている人が多く、事務でも現場でもどちらでも選べる社風です。最初は事務の方を考えて入社したのですが、研修の間に全ての部署を回ってみたら、自分はもともとモノづくりが好きなこともあって、現場で働いてみるのも面白そうだと思いました。

——現場で働こうと思った研修中のきっかけはありますか？

鈴木製作所のインターンシップに参加したときに、実際にミシンを作る工程に触れたのですが、研修の間にもう少し深入りした作業をさせてもらって、やっぱり面白いと思いました。

——もともとミシンに興味があったのですか？

ミシンというよりは、裁縫やモノづくりが好きだったので、インターンシップに参加したというところがあります。



——鈴木製作所に入社した決め手は何でしたか？

就職活動では、基本的に製造業志望で、県内の製造業をいろいろ見て回っていました。それで、大学3年生のときに鈴木製作所のインターンシップに参加しました。企業説明会は、コロナの関係で直接会社に行って話を聞くものと、オンラインでの実施が半々くらいだったんですね。やっぱりオンライン説明会だと実際の雰囲気かわからないのですが、鈴木製作所には実際に足を運んで雰囲気もわかっていたので、そこが決め手になりました。

——山形市のご出身ですが、初めから山形での就職を考えていたんですか？

そうですね。就職活動を始めたばかりの頃は県外も考えましたが、コロナで行きにくかったことや、製造業志望の私にとって山形には製造業が豊富にあったことから、調べていくうちに自然と山形に興味が移ってきました。

——実際に入社してみて良かったと思うところはありますか？

入社前のインターンシップでも感じていたのですが、皆さん優しいです。専門で学んでいない私にも、一から優しく教えてくれます。専門用語もたくさんありますが、質問しても丁寧に教えてくれますので、そういう点はよかったなと思います。



——周りには機械系の専門出身の方が多いのですか？

全体としては、技術系の学校で学んできた方が半分ですが、専門で学んでいない方も意外に多いです。

——インターンシップと入社してからとで印象が変わったことはありますか？

特にはないですね。インターンシップだから優しくしてくれたのかなと思っていましたが、入社してからも細かく教えてもらえたので、ギャップはあまり感じなかったです。

——入社してから先輩からつきっきりで教えてもらう感じですか？



そうですね。私のいる部署に歳の近い先輩がいて、教育係として教えてもらっています。今取り組んでいるミシンの組付をするときも、私一人だと不安なので、一工程ずつ見てもらっています。隣で作業しているので、分からないことがあったらすぐ聞くことができます。

——話は変わりますが、鈴木製作所では有給休暇は取りやすいですか？

そうですね。休みは取りやすいと思います。先輩も結構取っていますし、私も取得しているほうだと思います。

——私の知り合いの社会人に、「残業が多くて土日はへとへとで何もできない」と言う方がいたのですが、社会人になっても趣味とかそういった時間はとれるのでしょうか。

結構とれます。私の部署にも以前は残業があったようですが、私は入社してから一度も残業をしたことがないです。部署によっては残業することもあります。「1 か月で何台」という目標があるので、遅れているときはそれに向けて残業することもあります。

——社内で親睦会などはあるのですか？

例年だと、新年会やお花見、芋煮会があるみたいですが、私が入社したのはコロナ禍だったので、まだ一回も開催されたことはないです……。

あとは月に1回、誕生会があって、お昼休みにみんなでかつ丼を食べます。さらに、誕生月の人はホールケーキがもらえます。結構大きいのがもらえるんですよ。親睦会とは少し違うかもしれませんが、そういうイベントがあります。



### (3) ある日の過ごし方編

#### ●8:00 【出社】

出社後は制服に着替え、ラジオ体操をします。

#### ●8:25 【朝礼】

朝礼では毎朝、今日の作業内容や連絡事項等を確認します。また、「職場の教養」を部署内全員で読みます。



#### ●8:35 【業務開始】

部品を組付してユニット組を作ります。更にこれらのユニット組を組み付けて、ミシンの形にする組立作業も行っています。

新しく教わったことは自分なりにメモを取って習得します。

#### ●11:30 【お昼休憩】

食堂で持参した弁当を食べます。他部署の同期とコミュニケーションをとれる数少ない時間なので楽しみです。

休憩時間はコロナ感染防止のため部署ごとに時間をずらしています。

#### ●12:15 【ミシンの組立】

午後は、引き続きミシンの組立をしています。

先輩の隣で作業するため、わからないことはすぐに質問ができます。

また、一工程ずつ先輩に確認をしてもらい、ミスがないように組み付けていきます。



#### ●17:00 【業務終了】

業務を終了し、社員全員で社内の清掃を行います。

一日の作業内容を日報に書いた後、退勤します。

#### ●17:10 【退勤】

退勤後は買い物に行ったりします。

#### (4) むらやまでの暮らし編

——山形に残って、山形で暮らしていこうと思った理由はありますか？



絶対に山形が良かったというより、就職活動をしていく中で自然と山形に焦点が当たっていきました。住み慣れているまちの方が、社会人になったときの不安要素は減りますので、やっぱり慣れているまちで働くのは良いと思います。

——今回のインタビューは、山形県に若者を増やそうという趣旨もあるのですが、大木さんからみて「こういうところがあったから山形に住み続けようと思った」ポイントはありますか？

難しいですね。大学生だったら、在学中に山形の魅力を伝える授業があれば山形に残りたいと思ってもらえるのではないかと思います。私自身、山形出身なので、地元愛があって残っている部分もありますが、そういった授業があれば、他県の人でも山形にとどめることができるのではないかと思います。

——仕事が終わった後はどのように過ごしていますか？

買い物に行くことが多いですね。会社の周辺は結構お店が多いので、退勤したら買い物に行って、家に帰ったら趣味を楽しんでいます。私は通勤時間が短く家に着くのも早いので、帰ってからゆっくり過ごせます。

——ちなみに趣味はどんなことをされていますか？

大学では吹奏楽をしていたので、たまにクラリネットを吹いたりしています。あと、カフェが好きなので、休日はカフェ巡りをしています。

——おススメのカフェはありますか？

七日町にある BOTA Coffee がおすすめです。  
あそこのホットサンドが美味しいです。

——気になっていたの、行ってみます！



## (5) まとめ編

### ——今後の目標はありますか？

今は修行中の身で自分が作ったものを確認してもらっていますが、将来はいろいろな仕事に精通して、たくさんの知識を身に付けて、仕事のやり方について「こうしたらいいんじゃないか」と意見が出せるようになりたいと思っています。



### ——実際に、現場の意見でやり方が変わることはあるのですか？

頻繁にあります。出した提案が月に一度の誕生会の中で紹介されたり、報告書にまとめて提出した内容が食堂に張り出されたりします。それを見て、各部署でその改善を取り入れることがあります。

ぼろっと言ったことでも、「いいんじゃない？」と上司が拾ってくれます。私も1、2件提出したことがあります。

### ——大木さんが提案したことはどのようなことですか？

初歩的なことですが、組み付ける作業では小さい部品をたくさん使うので、数字をつけて順番に並べることを提案しました。こうすれば初めて作業する人も間違えずに組み付けられるようになります。これを先輩と一緒に提出しました。

——その提案は実現したんですか？

はい、実現しました！



——素晴らしいですね！

ご自身の経験を踏まえて、これから就活する人に向けてアドバイスはありますか？

私は製造業を考えていましたが、自分が絶対に興味ないだろうという業界も必ず 1 社に行くようにしていました。個別の企業説明会にも行きましたし、合同説明会では時間が許すかぎり製造業以外の違う分野も広く見ました。意外な気づきもあって、やっぱり合わない、ということもありますし、意外と面白いと思うかもしれません。

また、私は鈴木製作所 1 社しかインターンシップに行っていないんですが、就職を決めるときはインターンシップに行った時の雰囲気参考にしたので、インターンシップは大切だと思います。企業説明会で業務内容はわかりますが、実際にそこで働いてみてどう思うのかも大事だと思いますので、短期でも長期でもインターンシップに行くことをお勧めします。

——ありがとうございました！

大木さんは仕事と趣味も充実していて、会社には新人に温かく接する雰囲気があったことが印象的でした。



【インタビュアー：

山形大学工学部 高橋碧、藤井瑞葉、  
人文社会科学部 須田瑛大】

## 株式会社鈴木製作所

---

★世界でもトップシェアを誇るブランドをもち、ここ山形から世界へ発信！

「人に喜ばれるものをつくりたい」。これが鈴木製作所のものづくりの原点です。そんな純粋な思いから生まれた家庭用ロックマシン「ベビーロック」は、トップブランドとして世界中のお客様にご愛用いただいております。

★地域未来牽引企業、グッドデザイン賞、山形エクセレントデザイン大賞、発明大賞

- ・所在地 山形県山形市嶋南一丁目 12-7
  - ・設立 昭和 28 年 6 月
  - ・従業員数 141 名（男性 96 名、女性 45 名）
  - ・事業内容 家庭用ロックマシンの開発・製造・販売、  
横型ピロー包装機の開発・製造・販売
  - ・URL <https://suzuki-ss.co.jp>
-